京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●割烹界の福音 味の素

「味の素」は調味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺ぐべからざるもので、旅行の時などに携帶せられたならば、如何なる邊鄙な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、上鰹節や、昆布の樣に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く即座に忘れる事のできない食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店 歐米雜貨 洋酒 食料品 罐詰 煙草類 金銀器美術品 直輸入商 京城本町二丁目 同三丁目 辻屋 本店 電話二四八番 支店 電話二七六番

●韓鐵經濟の前途（六）

（某當局者の談）

次に頃日世間に傳ふるが如く京元線及湖南線が果して來年度より六ケ年の繼續事業として布設を了するものとせば前記豫想收入の外に此間に於ける材料の運搬其他の影響に據りて幾分の增收を見るを得べく開通後即ち四十九年以降に於ては之等連絡輸送に據り幾多の收入を增加するものならん茲に京義線開通の爲め京釜線に影響したる收入の增加割合を調査するに一日一哩に付卅九年度に於ては二錢九厘四十年度に於ては六十四錢六厘四十一年度に於ては二圓八十七錢七厘を示す此結果に依りて其影響を推算するに京元線の開通に依て得る割合は先づ以て之と同一と見做し湖南線の如きは沿道各地農產物の豐富なるを以て開通後に於ては京元線より以上の影響を受くるものならん因つて兩線開通の曉には其得る處の增收率は一日一哩に付約二圓の割合を計上するも敢て過當に非るべし

此收入豫想が果して適當なるや否やは之れ又讀者の判斷に任せ次に營業費に就き述べんとするも參考とすべき確實なる統計材料なきと既に前段に於いて陳ぶるが如く目下韓鐵は收支の計數よりのみ論ずるの恐なると且つ四十一年度に於ては經濟界不況の影響を受けたるに拘らず辛うして自活するを得漸次好況に向ひつゝある場合殊に當局者に於ても鐵道利用の程度及び鐵道行政經濟に付ては苦心經營の今日なれば是等は後日時期を見て紹介する處あらんとす（完）

●咸鏡北道の粟作凶●

頻年の凶歉により生活難に追はれ勝なる咸北の士民は本年の如く雨水に次ぐに虫害を以てし窮乏益酷しきを加へ來り目下宿食なく飢に泣く者漸く多からんとするの徵兆あり殊に年々穀物の不足分を塡補し來りし間島方面是亦た本年の不作に會し且つ不作の聲は更に穀物の市價を昂め既に粟米前月末には一斗の價葉錢二兩八錢なりしものが僅かに六七日を出ざるの間に俄然二兩五錢に暴騰し然かも奸譎なる淸商の如は向後益價格昂騰を策構へ深く藏して放賣を肯せざるが如き狀勢にて爲に民情沸騰し何時如何なる騷擾を惹き起すやも斗かられざる境にあり就ては其筋に於ても相當救恤の法を講案中なりといふ

●韓國の地方倉庫數

韓政府が三十九年十月以後貨物集合の要地に倉庫を建設し之を所在金融機關に貸付けあるもの現在左の如し

地名	棟數	坪數
平壤	一五棟	二五三坪
大邱	三	二四〇
光州	一	八〇〇
榮山浦	三	一八〇〇
平澤	一	一七五
水原	一	六〇
江景	一	七〇
開城	一	五〇
砂利院	一	三六

尚は本年內竣工すべきもの大田、博川、全州の三個所ある由

俳句

●第六回月次集　すみれ會

▲朝顔　むら判

（結、馬子野島多遠山二十天由利白進）

◎秀逸

朝顔の種子交換を約しけり　月哉
朝顔の紅白亂れ咲きにけり　昇月
朝顔の一寸からみけり鬼格子　中庸
朝顔や隱士かいほの破れ垣　荻水
朝顔や我まゝの利く垣のつる　四樂
朝顔や垣くゞり出て花二つ　淡水
朝顔や士町に古りしかき　凸坊
朝顔や道星とある新聞紙　不美女
朝顔に脚しばられし木馬かな　月哉
手入せぬ朝顔異の趣味多し　不美女
朝顔や牛乳すゝる庭のいす　月哉
朝顔の馬屋半分かくしけり　玉糸
朝顔や明日さく花の二つ三つ　弓糸

◎

朝顔や俳士の墓のあはらしき　碓波

中山大納言



第五十八席　桃川燕玉演

結句斯う云ふ人は欺され易い、腹の中に何にも蟠りがないから正直に受けてしまふ、さア是から兵庫太夫の許へ足を繁く參りまして、敵の手掛りはあつたか、未だないか、どうした斯うしたと言つて、是が病み付きで室の津の兵庫屋へちよい〳〵參りまするから、他の連中○「成程こいつは不思議だ、いやどうも其道を以てすれば君子も欺かれると云ふが違ひない、あの頑固な彥九郎がすつかり兵庫太夫に陷つてしまつた、こいつはどうも面白い」と側の人は手を打つて笑つて居たが、當人はちつとも氣が付かない、此女の所へ高山彥九郎が餘程足を近く通ひまして、大層金を使つた、惡い事は出來ませぬもので、後年高山彥九郎が筑後久留米で相果てました後だ、此女も段々年を取つて來て加之惡い病が發してどうにも斯うにも仕樣がないので、主人が證文を捲いて襃呉れたのだが、誰も引取る者がございませぬので乞食になつてしまつた。昔は絹布に包まつて贅澤三昧をした花魁が、莚一枚に包まり面桶を以て野山を徨つて歩きました其時に此女が懺悔をした、世の中に女郎程罪な物はない、高山彥九郎と云ふ大層頑固な人、足を近く通ふやうにして見ろと他の者から勸められたので、嘘八百を並べて親の歡を討つ大事のある者だと欺いたら、心の離れて居た御方、眞に受てちよい〳〵御出なすつて、大層御金を使はせた、後で話を聽くと此上もない勤王の有志で、此頃御國の爲に到頭腹を切つて御歿くなりになつた、あゝ云ふ天下の豪傑を欺かした天罰が廻つて來て斯う云ふ姿になつたと、乞食になつた兵庫太夫と云ふのが懺悔をした。到頭此奴は並木の肥料、行倒れになつたと云ふから、惡い事は決してするものではございませぬ。扨其道を以て欺きますれば何んな人でも欺かれぬ事はない、彥九郎に於ては其年の暮都に上り、東坊城と云ふ人の處へ參りまして、初めて大內の御節會大禮の式を拜見致し、平田若狹守と云ふ人の手引でございまして昇殿を致しました、ぞうも彥九郎の喜びは譬へん方はない、天へも昇るばかりに喜んだ。すると此高山彥九郎を手鹽に掛けて育て上げた祖母さんが上州新田郡細谷村で八十九歲で亡くなりましたさア彥九郎の驚きは一通りでない、自分は小い時に兩親に別れ祖母の手鹽に掛つて育てられた、其祖母アさんが死んだのだから取急いで細谷村に立歸りまして、此祖母さんの墓の傍へ廬を結びまして、三年の間其處を離れないで喪に籠りました、實に彥九郎と云ふ人は大した人物、此彥九郎が三年籠つて居た中に世の中ががらりと一變した、と云ふのは今迄は田沼主殿頭同大和守と云ふ惡い役人があつて、下々をば非常に苦しめ、上は皇室へ對しても不敬な振舞なども往々ございまして、是が爲高山彥九郎齒を喰ひ切つて　彥「憎い奴は幕府の木葉役人、今に片端から踏殺し、目に物見せて呉れやうと怒りきつて居つた、所が彼の田沼が引込んで仕舞つた後へ、松平越中守定信と云ふ白川の樂翁樣が御乘込になつた。すると今迄とは萬端振合が變つてしまつた上は朝廷を敬ひ下は萬民を憐み、越中守自身質素儉約をして文武の二道を勵み、どうも實に結構な世の中となりました、高山彥九郎細谷村に祖母さんの御墓守をして居りまする、江戸から歸つて來た人が「扨高山さん、今度は實に世の中が直つて結構な話、白川の越中樣、誠にどうも大層な殿樣だ、此御方が何でも儉約をせねばならぬと言つて、今度仰せ出されたのが女の小袖は三百匁に限る、其上は決して着てはならぬと云ふ、又袖模樣も金の出る物は着てはならぬと云ふ、衣服だの道具は成るたけ新規に拵へないやうに、朔日、十五日式日の外は擲ひの小袖を着てはならぬ、又急がなくつても宜い普請、乃至無益な仕事は總て打捨つて置け、家督の嫁取り婿取りの贈物や祝ひ物は今迄の半分で宜い、又祝儀も成るたけ手輕にするが宜いと云ふ、まア〳〵召使ふ者は知行所の者を成るたけ召使つて萬端下の者を勞るが宜いと云ふ、イヤどうも今迄の武士とはまるで士の風が變つたが、どうも律儀な御役人があればあつたものだ」と云ふ、之を聞いて高山彥九郎はどうも喜んだの喜ばないの　彥「さう云ふ役人が德川家に出來れば自然と朝廷を敬ひ、世の中も太平に治まる、越中守と云ふ人は大層な人だな」と心中に喜んで居りました、所が今度高山彥九郎が三年祖母さんの喪に籠つて孝行を盡し、殊に今迄彥九郎の行の樣つて居る事が上役人の耳に入つたから、彥九郎を重く上に於て御用ゐに相成り、御襃美の御沙汰も出やうと云ふことになつた。

廣告

EDP 埃及金口 貴



（百本入金七十五錢以上）

直輸入商 京城本町二丁目 日希商會 電話二百廿二番

○嗜喫家諸君○
ニコチンの中毒なく口中に芳香と快感を得んとする諸君は本品を用ひられよ
紳士紳商に向け進物を贈る諸君は優美にして廉價なる本品を用ひられよ

櫻組製靴と四ケ所商店
本邦製靴界ノ親玉トシテ好評嘖々タル櫻組製靴部ハ特約ノ上尤モ嶄新ニシテ尤モ堅牢ナル品ヲ尤モ廉價ニテ御取次可仕候
續々御用向被仰付度御申越次第何時ニテモ參上寸法頂戴可仕
尙ホ定價表御入用ノ方ハ御申込次第送呈可仕候
京城本町二丁目（電話三一二） 四ケ所商店
歐米雜貨類 諸官衙御用達
東京松本樂器會社韓國代理店

巻煙草 八島
京城 廣江商會 電話五七六番



純良 消毒 檢査濟 牛乳
韓國畜產株式會社 南大門外（電話八八番）

キッコーマン 最上醬油 龜甲萬
野田醬油株式會社 仁川

美術半衿帶上帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目
丸ゑり德商店

京城新報

根原に向て防疫方法を勵行すべし

防疫勵行に就ては余輩も屢々之を警告し當局者に於ても努力せらるゝにも拘らず、病毒の傳播激甚にして今や恐るべき勢を以て蔓延しつゝあり、之が防疫の方法に就ては當局者に於ても充分なる施設あるべし、漢城衛生會に於ては既に防疫本部を設置せらるゝことに決定し、南部警察署にては臨時防疫事務所を設置し、非番巡査をも召集して一意防疫の勵行をなしつゝあり、防疫本部設置の決定と云ひ、臨時防疫事務所の設置と云ひ、何れも盛大に[illegible]今は斯ることを論議する時に非ず、宜しく官民一致して病毒の蔓延を防止すると共に之を絶滅するの手段を取らざる可らず、然らば如何にして之を防ぎ其病毒を絶滅すべきかと云ふが目前の問題也。

余輩の見る所を以てすれば今時の虎列拉病患者は韓人側に最も多ければ、先以て韓人側に向て大に防疫方法を勵行せざる可らず、在留邦人間にも患者なきにあらざれど韓人に比して其數少し、而して其邦人患者も多くは韓人側より傳染を見るもの多きにあらずや、然らば其根源は韓人側にありとするも或は大過なからむ、義州方面に於ても仁川に於ても、龍山に於ても、將た現に京城に於て日々續出する患者は韓人側に多し、果して其根源韓人側にありとせば大に彼等に向て防疫方法を勵行せざる可らざる也、在留邦人の衛生防疫方法は當局者の注意と在留邦人等の注意とに依て稍完全なるものあるも、韓人に至りては未だ其[illegible]衛生思想に乏しき彼等に向て之を[illegible]而して韓人飲食店の如きは食物の上に群り、不熟の果物腐敗せる魚類等一見すれば[illegible]食物を取扱ふに非ざれば[illegible]衛生思想幼稚の狀態斯の如しとすれば彼等に向て唯病毒の恐るべきを諭示するのみにては防疫方法の勵行は到底出來ざる也、然らば[illegible]

余輩は一昨年の防疫に倣ひて此際軍隊の出動を煩はすの可なるを見る、警察官は今や非番巡査を召集するも尚足らざるの狀態なれば韓人街の大清潔法施行及飲食物の取締等に或は行届かざるなきを保せず、是を以て余輩は軍隊の出動を煩はして根原たる韓人側の大清潔法及其他の防疫方法を勵行し速に病毒を根絶せんことを希望するもの也。

●統監府と防疫員 [illegible]

東京電報

▲東宮殿下の御行程 過日來北陸地方御巡啓の爲め目下福井に御滯在中の皇太子殿下は明二十三日金澤に行啓の御豫定なるが今後差したる大暴風無き限り御豫定御變更相成る樣の事は無かるべし（廿二日午前）

▲司法權實施の進行 倉富參與官と當路との間に打合せ中なる韓國委任司法權實施に關する各法規は二十日全部の協議を了し既に法制局に廻付して起草に着手せり（廿二日午前）

▲醜中將逐に自白 水產會社の問題にて[illegible]中將は小切手僞造の件を自白せり（同上）

▲期米取引の停止 昨二十一日の米穀取引所に於ける期米一節の立會は不穩と認められ引續き取引停止を命ぜられたり（同上）

▲遣米軍艦の解纜 遣米軍艦出雲は横須賀港を桑港に向け解纜せり齋藤海相、東郷軍令部長、上村、片岡兩司令長官等は之を見送れり而して同艦は十六日同港發十二月十二日ホノルル着二十四日同港發十二月十五日桑港着の豫定なり（廿一日發）

▲大藏證券の借換 大藏省證券三千七百萬圓は來る三十日償還期限に相當するを以て政府は轉貸金は之を借り[illegible]萬圓の內約一千萬圓[illegible]（同上）

▲吉林清商の反對 吉林鐵道の借款を以て吉林の清商は全然日本の[illegible]する方針也と（同上）吉林鐵[illegible]なし現狀の如き讓[illegible]を放棄するの優れ[illegible]心を煽動せしめ居[illegible]日報をして盛んに[illegible]送せざれば吉會線[illegible]きものありと豫期

▲取引所と證據金 東京米穀取引所は昨廿一日後場一節より九月十月の兩限月の新規賣買に對し左の證據金を命ず（同上）
九月限 百五十圓
十月限 二百圓

▲聯隊旗の親授式 本日宮中に於て新設の第二十三第二十四聯隊、第二十五第二十六聯隊（豐橋）に對し聯隊旗親授式行はれたり（同上）

▲今村判事の逝去 有名なる大審院判事今村信行氏は心臟麻痺にて昨日逝去せり（同上）

▲神社宗敎の合併 內務省にては神社、宗敎の二局を併合せんとて目下調査中なり（同上）

▲浦鹽の虎疫發生 浦鹽斯德に五十名のコレラ患者發生したり（同上）

▲野球試合の盛會 安藝丸にて來朝したるウヰスコンシン大學野球團は本日滿都の學生歡呼の裡に慶應義塾選手と試合を試み盛會を極む（同上）

▲統監見舞者渡韓 法學博士高木豐三、貴族院議員下條正雄の兩氏は曾禰統監病氣見舞の爲め二十五日出發渡韓の途に就く（同上）

▲所得稅法の改正 政府は所得稅法中申告金額を四百圓乃至五百圓以內の所得あるものと改正すべし（同上）

北京電報

▲露國政府の要求 露政府は東淸鐵道支線としてウナンリに至る一線とイルクツクより庫倫に至る一線を布設する件を淸國政府に要求せり（廿二日）

▲ボイコツト反對 東三省の有志は日貨排斥に反對し日貨排斥は滿洲を自滅せしむるものなり若し滿鐵會社にして淸國貨物の輸送を拒絶せば吾々滿洲の商業は亡滅の外なしと絶叫し居れり（廿三日發）

伯林電報

▲內田大使の聲明 內田駐獨大使は新聞紙に一論文を寄せて曰く吾が日本帝國の滿國及び露國に對する政策は純然たる平利方針なるを論明せり（二十二日東京經由）

雜報

●京元線急設の要 京元、湖南兩線中何れを先づ布設すべきやに就て某當局者は語りて曰く軍事上より何れを先にすべきかを問へば京元線の急にして湖南線の後にさるべきものたるは何人も異論なき處なるが之を經濟上より見るも同鐵道の開通は北韓の發達を促進し北韓の發達は日本の發達を意味す現今我東北地方の開發は寔に幼稚を極め居るものにして若し同地の開墾のみにても發達せんか日本が現在輸入を仰ぎつゝある外米の如きは優に之を供給し得て餘りあるべく東北地方が關西の如く開發されたる曉には日本の富は殆んど二倍し從て國民の負擔力も倍加すべく日本は決して貧乏に苦しむの要なかるべし然れども之を自然の開發に任かする時は尚ほ長時日を待たざるべからざるを以て何等か人爲的の刺激を與ふるの必要あり此意味よりするも京元線の急設は最も必要にして現內閣も幸に同線を先にせんとする意思あるが如きは最も適當の處置なりといふべしと云々（日韓電通報）

●間島撤退の進捗 統監府間島派出所撤退に就ては日淸の親善を重んじ其筋に於ては鋭意取急ぎつゝあれば遲くも來る十月下旬迄には全部完了を見るに到るべし而して同所の廢止は勅令を以て是を發布し同時に外務省告示を以て領事館の增設及其管轄區域を定めらるべしと云ふ

●警察部長會議の模樣 二十二日は午前九時より暴徒に關する諮問事項に移り各警察部長より其地の狀況及之に對する意見を陳述し松井局長は例に依り各評論を下し且諭示を與へたるが此日軍隊よりは特に天神、林大尉及植木參謀憲兵隊よりは藥師川高級副官加藤中尉列席して聽取する處ありたり午後は赤十字社相談會を開き藤田軍醫監部長出席の上懇談せられたり夫より諮問事項たる巡査勤務規程に關し會議を爲したりと

●內部土木工事の中止 目下建築中なる內部土木工事に使用せる人夫中一昨二十一日吐瀉を爲したるものあるより直ちに醫師の診察を受けたるに眞正虎列拉なること判明したるにより早速大消毒を加へたるが尚內部は昨日臨時休業して大消毒を爲又內部廳舍土木工事も中止したり

●煙草會社の創立計畫 京都の富豪村井吉兵衛氏は慶尙北道に於ける村井農場の視察をなし今明日中に入京の豫定なるが同氏は韓國に於ける煙草製造業の有望なるに着目して在上海の米人某氏と合資の上韓國に一大烟草會社を設立の計畫

●間島派遣警官の引揚 間島派遣の石井憲兵少佐、平田同中尉は豫て內部警務局より派遣したる警部及び巡査引揚に就ての打合せの爲め再昨二十日入京したるが昨廿二日警察部長會議に列席の上引揚に就き凝議する所ありたり

●警察部長會議終了期 目下開會中の警察部長會議は二十八日を以て結了し二十九日各部長の相互協議會を開き三十日夫々歸任の途に就く筈なり

●四區裁判所の開廳期 永同、順天、南原、安州の四區裁判所は愈々十月一日より開廳することゝなりたり

●郵便事業擴張（續）

▲配達の改良 （イ）各地方郵便局所の所在地を距る遠隔の地に達する郵便物は韓人主事をして配達せしむる所少からず然るに往々配達方遲延を免れ難き傾向あり此等は日本內地に在りては或は郵便規則第七十三條に基き配達を爲さざるものとして附近局所に留置き交付する地に相當するものをも包含すと雖も韓國に在ては經費の許す限り從來の便宜の方法に依り一切配達せしむる爲めにして而も何此を鋭意極力改善せんことを期し即一局所の郵便區（十面內外より卅面以上を包有す）にして一ヶ月の配達郵便物約五百通以上ある局所には悉く專門の郵便現業傭人を增置し全然主事を介せず當局所長直接指揮監督の下に配達回數を增加し日時を一定して迅速配達せしむることに改め其他主事配達に對しては經費と共に回數を增加し配達日時を一定せしめたれば僻地の郵便配達も漸く面目を一新するに至るべしと因に此の配達改良のみに對しても年額約二万圓の經費を投じたりと

（ロ）都市の郵便配達は其の物數の夥多なる爲め勢ひ一便の配達に二時間乃三時間を要し郡同一船車にて着せし郵便の配達を受くるに甲乙の間に斯く長時間遲速の差ありては其の郵便に基く所要を辨ずるの使否に直接影響する所なれば甚だ不公平を成るべく輕減せしめんが爲め配達一回は遲くも一時間乃至一時三十分間に又郵便物の取集も一回三十分內外にて終了せしむるの目的を以て集配人員を增加し各集配人の受持地域を縮少せんことを調査中なりと

而して京城市內各局及龍山に本夏以來內地便の夜中配達方萬難を排して實行し始めたるに其の成績未だ完全ならずと雖も比較的良好なるものあり然るに漸次冷氣の催するに伴ひ一般の閉戸就眠時刻幾分づゝ早くなると今後寒中に入りては單に配達人の困難なるのみならず受信人亦却て難有迷惑なる場合なきにあらざれば旁々上記の改良を遂げ出來得る限り公衆に迷惑と不便を感ぜしめざる程度に於て夜中配達方法を繼續維持するに努むべしと尚此等改良に伴ひ各戸に於て郵便受函を掲置せらるゝときは配達容易にして迅速なるを得るのみならず前記の如く受信人に於て夜中配達の迷惑を感ずることなく自然郵便局のみならず一般公衆に於て利益する所尠少ならざるものあるべければ毎回本紙に記載せし如く郵便受函未設の向は此際可成之れを設置せられんことを切望すと（京通）

●今後の私立學校 地方費の實施は地方私立學校に多大の影響を與へ之れが爲めに廢滅の悲境に陷るもののなきを保せず學部は此際を期し其成蹟良好なるものには相當の補助を與へて益々獎勵すると同時に一方不良にして且維持に堪へざるものは其廢滅を促し以て地方敎育の革新を計るべしと

●警察部長ご宴會 警察部長會議に際し各方面よりの招待及憲兵隊警視廳等と合議して親睦會を開く計畫ありしが虎列拉病流行に付各招待を辭退し宴會を中止せり

●各官衙當分半休 統監府及び韓國側各官衙並に京龍所屬官署は虎疫猖獗の爲め當分午後一時限休廳することゝしたりと

●敍勳 左の如く敍勳されたり
陸軍步兵大佐 安藤 嚴水
特敍勳二等賜太極章
式部官勳三等 渡邊 直達
特陞敍勳二等賜八卦章
梨本宮家從 竹原恭太郎
同 臼井 兵作
特敍勳六等賜八卦章
宮內屬 內山耕二郎

●韓銀株の割當法 韓國銀行株の端數處分法に就き更に聞く處に依れば前例に依り應募額は所要株に對する比例を取り之を申込高に比し募入すれば動かざる所なるも其端數は四捨五入に依りて切詰むるかは未定なり而して募集額より日韓兩皇室御引受株二千株を控除し割合の比例を求むれば三厘三毛二一六となり三百三十株以上の申込者は募入するも其れ以下の端數は割當法に依り處分せらるべしと

●貨物取扱の注意 仁川港の輸出入貨物積卸陸揚運送に際し物貨の破損滅失を被るもの尠少ならざるが右に就ては稅關に於ても注意を拂ひつゝありと雖も今一層該貨物の取扱に關し注意を與へられたき旨仁川商業會議所は役員會の決議を經て今明日中仁川稅關長に宛て請願書を提出すべしと

●中村所長の拜觀 中村製鐵所長官は二十一日藤波統監府通譯官同伴昌德宮を拜觀したるが昌德宮にては主殿院卿の案內仁政殿內部を、主殿院員の案內にて秘園全部其他所謂の植物館溫室より博物館動物園等を巡覽し係員の說明を聞きたり

●獨逸旗艦の入港 獨逸東洋艦隊司令官インゲノール少將の座乘せる旗艦シャルムホルストは二十一日午後七時旅順より仁川に入港碇泊中なるが同艦は一萬一千四百二十噸の巨艦にして數日同港に假泊すと

●齋藤大佐入京期 間島派出所長齋藤大佐は同所撤退に關する用件を帶び來る二十五六日入京すべし而して同大佐は二三日滯在の上直ちに上京する由なりと云ふ

●靜岡視察員入京 靜岡視察員海野孝三郎氏外七名は二十一日入京山本に投宿し昨二十二日統監府其他を訪問したりと

●梅か香丸開航期 我帝國義勇艦隊の新造船梅が香丸は來月十日以降釜山、下の關間の航海に充つることになれりと

●海老名氏の來韓 日本思想界のオーソリティー東京市本郷敎會牧師海老名彈正氏は今月末頃來韓する筈なりと云ふ

●安達代議士入京 代議士安達謙藏氏は廿二日午後八時十分着列車にて入京す

●大內代議士入京 代議士大內暢三氏は二十一日入京京城ホテルに投宿したり

●鍋島部長の歸任 東上中の鍋島外務部長は一昨二十一日夜歸任したりと云ふ

●經濟研究會例會 仁川經濟研究會は既報の如く來る二十五日午後七時より民役所樓上に於て其の發會式を兼ね第一例會を開く筈なるが二三研究問題の提議ありと云ふ

●仁川會議所總會 仁川日本人商業會議所にては來る二十六日役員會を開きて四十三年度豫算案に就き審議の上更らに二十九日總會を開き該案を附議する筈なりと云ふ

●湖南敎育會總會 去る十九日中部典洞中京學校に於て湖南敎育會定期總會を開き同會維持方法に就きて協議したりと云ふ

●救世軍傳導布敎 救世軍にては十九日西大門內なる軍營に於て傳導說敎例會を開きブツコ、ヒヨツクスの布敎ありたりと

●千葉縣人會中止 來る二十四日翔翠樓に於て開會の筈なりし千葉縣人會はコレラ流行の爲め中止し十月中旬に延期したりと

●高女校臨時休校 虎疫猖獗の爲め京城高等女學校は昨日より一週間臨時休校せり

●理事官病院巡視 信夫理事官は一昨日仁川水踰洞傳染病舍假收容所を巡視したり

公人私人

▲堀內善九郎（外務省警部）二十一日入京
▲森本俊之介（水原林業事務所長）一昨歸原
▲伊東益雄（陸軍步兵大尉）廿一日平壤へ

近事片々

▲秋色 頓に加はりて政治季節に入ると共に祖國政客等の來韓多し漢城の寂寞復活す
▲安達 錄造君大內暢三君森肇君岡田治衛武君等來る來韓の政客或は夫れ各異ならむ
▲此等 政客の眼には現時の統監政治は如何に映ずべき歸來如何に之を報告すべき乎
▲杉山 君主催の演の案會議に就ては漢城に於ける唯一の話題となる韓政客亦刮目す
▲此會 合伊東巳亭の如き後藤[illegible]の如き毛色の異つた人の寄合聯か世の注意を惹く
▲伊藤 の老公まで引張り出せるを以て甚だ重要の對韓問題と注釋を下だすは噴飯し
▲此所 大に唖眉しホテ丸の醜態を見物するを要す傀儡師を出すも鬼を出すも自由
▲虎病 猖獗に統監府に迄侵入し來る本家に火が付てはならぬ防疫法勵行が肝要也
▲病原 韓人側にありとは衆庶の鑑定果して然らば韓人街の大掃除飲食物取締が肝要
▲病勢 猛烈の爲に統監の招宴は中止せらるゝ筈暫らくは宴會會合杯は中止すべき也
▲曾て は宮中にて幅を利かせし前宮女申召史は憲兵隊に引致せられ取調べを受くと
▲其結 果一大疑獄起らんと京城日報は報ず或は然らむ彼女も昔は隨分罪を造れる者
▲其美 貌外交的手腕で一度は百官を左右し飛鳥を落せし時代もありき世は有爲轉變
▲英國 のローズベリー卿と首相アスキス氏の論戰は天下の偉觀龍攘虎搏とは乃ち是
▲流石 は英國の政治家也何事も正々堂々立憲的に論戰す何事も妥協の日本豈に可耻
▲露國 の東蒙古經營は着々步を進む獨逸亦南蒙古より北漸東蒙古に勢力を伸べんと
▲獨逸 は張家口を本陣に露國は洮南府を根據となす東蒙古は早晚露獨の勢力衝突か
▲浦鹽 の競馬は些も振はず寄に競馬以下の賭博類に流行すと賭博は何處も流行する
▲韓國 競馬は曾禰統監の一鳴によりて永遠に望なきに至る安達君は失望せりと噂す
▲東京 で評判者の葉仙源七も終に見世物と成て大阪に行く是では仙人は近々廢業か

●設論二件 昨日午後九時廿分太平町一[illegible]致し設論を加ふ▲南部華洞廿一統十戸李德[illegible]

●天氣豫報（自廿二日午後六時 至廿三日午後六時）[illegible]

…行し同府員を以て防疫員を設け日夜非常に注意を拂ひつゝ極力豫防事務に盡力中なりと

▲南大門通りにて口論の結果爭鬪を初め通路妨害を爲せる廉に依り宗巡査は双方を引[illegible]…喉となり其の筋の厄介となりしが結局大目玉を頂戴す

廿一日(晴氏) 最高溫度 八〇、二 最低溫度 六二、一

各地の虎疫彙報

◎京城市內

▲新患者續々發生す　原籍島取縣日野郡□成村大字角の上百二十二番地當時京城古市町百十八番戸加藤政重方寄留大工職柴田秀三郎(二六)は二十一日午後十二時過ぎ數回の吐瀉を催し二十二日午前三時龍山十字醫院望月醫師の檢診の結果眞正虎疫と確定民團役所より消毒吏員出張し患者は直ちに寄坡病院に收容す△二十日午後五時西署松永巡査檢病的戸口調査の際南大門生祠洞七十一統十四戸英語通譯姜泰膺從方從嫂權を注意患者と認め監視中二十一日午前五時二三回の吐瀉を來したるを以て山本警察醫檢診の結果疑似虎列剌と確定す△盤根坊中洞百六統二戸朴辰弘妻梁氏(五三)は廿一日午前一時虎列剌に罹り同日午後四時三十分死亡せるに依り巡査趙元泰護送して光熙門外傳染病墓地に埋葬す△仁達坊南門洞六統二戸徐克懋方雇人柳乘燮長男萬石(七)は廿日午後六時發病し廿一日午前六時死亡せしに依り神吉警察醫檢案の結果眞正虎疫なれば附近一帶を嚴重消毒し交通遮斷を行ふ△中部管內上東谷統戸不詳鄭在浩方居留金成八(三八)は去る十七日午前十時虎疫に罹り獨立門外岳磚方へ運び來りしが二十日午後九時死亡△盤石坊蓮洞警第二號柳姓女(三〇)は廿一日午後一時罹病同日午後二時神吉警察醫眞正虎疫と診斷し酒井巡査護送して避病院に收容す△原籍黃海道鳳山九淵坊上口里當時京城餘慶坊篩洞警第六十四號李圭植方居住金姓女(三五)は二十一日午前七時發病し同日午後四時卅分死亡す△盤石坊大里門洞百七十五統七戸車德順長女千閏(八)は廿一日午後十一時吐嘔を催し同日午後十二時過ぎ死亡せしに依り傳染病墓地に埋葬す△慶尙北道奉化郡統戸不詳鄭柱点(三三)は廿一日午前九時發病し御成町濟衆醫院に入院翌廿二日午前三時死亡せるにも關らず院長の米國人が死体を西部署係官に容易に渡さゞりしは不都合なり△廣善坊義盈洞三十四統八戸金明煥方居住木挽職殷後興(二九)二十一日午前十二時罹病せしに依り直ちに避病院に收容す

◎龍山方面

廿一日午前六時三十分頃龍山榮町北裏俗稱霧般山下鐵道管理局七運び人夫小屋に於て慶尙北道生れ姜成七(三七)なる者下痢症にて昨夜中死亡したる旨屆出ありたるより直ちに金巡査を派し交通遮斷を成さしめ一方竹村部長は弓倉醫師を同伴し該家に出張檢診せしめたるに眞正虎列剌と決定したるを以て嚴重に警戒を加へ置き一應歸署し署長及其の他當事者と交涉の上愈々之れを燒棄することに決し同宿の人も五十餘名は消毒の上他家に隔離し昨廿二日午前十時を以て燒棄を決行したりと云ふ△龍山死署派出所詰巡査申德任より廿一日午前六時四十分頃本署に對し自分の妻昨夜より病氣に罹り殆んど死に瀕し居れりとの急報に接したれば歸宅すべき旨屆け出たるにより直ちに東幕出張所に電話にて臨檢按診すべき旨通知したるが診斷の結果虎疫と判明△廿一日午後一時頃上田醫師より電話を以て本町四丁目北原硝子製造所に於て日本人の死體診斷を行ひたるに疑似虎病にて死亡したるものと檢案したる旨屆出たるより竹村部長皮曾根崎巡査、民團吏員立會の上消毒を執行△龍山萬里倉契居住黒川格より電話にて附近の韓人昨夜密に一死体を埋葬したる風說ありとの申告ありたるより取調べたる處三年前より結核病に罹り居たる者なりしと死体檢案の結果判明したり

▲虎疫と京城の野菜▼

目下京城の虎疫益々猖獗を極め散蔓區域愈々擴大し日々新患者發生し人心恟々として何日終熄の見込なき現情なるより其筋にては極力これが撲滅豫防策に腐心しつゝあるが南部警察署にては既に臨時防疫事務所を設け署長監督の下に酒井警部主任となり專ら之れに盡瘁せり去る二十日正午同警部は往訪の記者に語つて曰く元來京城市民に供給せる野菜の大半は龍山市街を西北に距る一里餘の所に介在せる韓人部落にして戸數八百有餘を有する麻浦及其附近の麻浦新水鐵里、孔德里地方より輸入する者なるも目下同地方には虎疫猖獗して罹病者は總計五十一名の多數を算し該地方より運搬の野菜は病毒媒介の危險なきを保せず殊に未だ衛生思想に乏しき韓人のとなれば渠の最も怖る可き黴菌を含有せる罹病者の糞尿を肥料として培養したる野菜もあるべく時節柄好野菜家の注意肝要なり昨今京城市內各所に新患者續々發生して日々蔓延の兆あるは或はこれが遠因を爲すにはあらざる歟聊か研究すべき問題ならずやと語れり

◎仁川方面

仁川港韓人部落の虎疫は既報の通り漸次病勢衰退して終熄の期近きにあらんとする模樣なるより係員は力を得て益々其の全滅に銳意盡瘁しつゝあり今本月五日初發以來の虎疫患者總數を聞くに百五十二名にして內死亡七十五名、全治者三十餘名なりと云ふ△愛媛縣勸業協會主催觀光團一行中大野熊太郎氏が去る十九日仁川の巡視を終へて京城に歸るや虎疫に罹りて不幸歸らぬ旅に赴きたる由は既報の通りなるが右原因たるに就き仁川にて傳染したるものゝ如く稱ふるものありと雖も昨今仁川に於ては市中にも一名の該患者なきのみならず苟も危險の虞ある韓人部落には接近せざる範圍にて市中を觀覽し即日歸京したるものなれば之れを以て直に仁川にて感染したりと見做すが如きは早計も甚しと云へり

●全州監獄の破獄

▲逃走囚徒は重罪犯三名　全州監獄に收容中の强盜犯人懲役十年囚朴福淳(三二)同金在文(三二)同終身囚金海雲(三二)の三名は九月十七日午前三時監守の隙を窺ひ破獄を企て逃走したるを以て警吏は八方搜索したるも不明にて目下嚴探中なり

●昌德宮雇の拐帶

▲宮中の金子八百餘圓　昌德宮內秘苑雇員朴志興と云ふは一昨日宮中の金子八百餘圓を窃取して何れ共なく姿を隱したるが仁川に潜伏し居るやの形跡あれば目下搜索中なりと云ふ

●(滑稽)姿見鏡物語

▲理髪床の女房の褄重ね　住居は龍山祝町で度支部印刷局に通勤する年の頃は三十二三とも見ゆる竹〇小太郎と云ふ頗る付きのハイカラ男がある此の男宅には壓平とした妻君も有り子供の二三人も有るにも拘はらず不所存にも元町四丁目の〇〇床の女房れ何(三〇)と云ふ大年増と何うした拍子からか出來合ひ此の頃では近所界隈で知らぬは亭主と其の竹內の妻君計り双方ともに上氣せ氣味で他人の蔭言位は耳にも入れず無理から首尾して大巫山戲に巫山戲回つて居るのみかれ互ひに日に三度の飯には在菜が無くとも三度宛顏さへ見れば胡麻鹽茶漬で結構なりとは結局經濟向きで宜いと云ふのは當人同志の事で今にもあれ此の事床屋の亭主が耳に入らば剃刀にバリカン、櫛にブラシを振り回しての大騷動が持ち上るべしと近所の者は他人事ながら懷へ上つて居ると云ふが茲に最も滑稽なるは床屋の女房店に客のある時は男が役所へ通ひ路の自分の家の眞向ふなる祝町通りを眼も放さず店に客の無い時は祝町通り一面が手に取る如く映る姿見鏡の前に腰を下し一心不亂に見詰めて居る樣は十五か十七の生娘が初戀を見る樣で可笑しくはあるが笑はれもせずとの投書のまゝを

●不埒なる清商吳禮堂

▲淸領事の命をも奉せず　仁川の大家主中に吳禮堂と云へる淸國人あり同人は開港當初より仁川に居住してあらゆる慘忍酷薄なる行爲を敢てなし以て今日の富を築くに至りたるものなるが渠れが非行の數々は今此處に明記するの遑なしと雖も今や同港に於ては擧港一致防疫に努め大淸潔法を勵行しつゝあるの時に際し渠れ吳禮堂の所有家屋は淸領事の命令を以てするも其の筋より再三再四淸潔法の執行を迫るも泰然自若として何時かな其命令に從はず依然として放任し居るより其の筋の忌憚に觸れしは無論苟も衛生を重ずる市民一般は渠れが稀有の守錢奴にして只だ惡錢を蓄ふるの外眼中公益なく公衆衛生の思想なき言語同斷の處置に對し憤慨しつゝありと云ふ

●只使つた上撲る

仁川港町海岸に於て一昨日午前十時頃同地仲町吉賞組の船頭西彌助(三八)は人夫葵平仁(三八)と云へるを使役しながら其賃金七圓八十錢を支拂はざるものから平仁は嚴しく附纏ひて催促するを五月蠅く感じけん鉄拳を振り上げて件の韓人を毆打し面部數箇所に負傷せしめたる旨仁川署に屆出たれば警官出張取調べの上右彌助に對し嚴重說諭を加へ賃金を支拂はしめて事濟みたり

●新妓●　橫濱市三好町生れ石塚はな(十九)は春人と名乘りて今晩より淸月樓に現はる

●正誤　本紙第二百十九號廣告欄掲載の煙草商會當籤の廣告中一等當籤番號一〇六三とありしは三六〇一の誤植に付き玆に訂正す

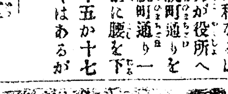
吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

九月二十三日舊八月九日二黒佛滅丙戌の日

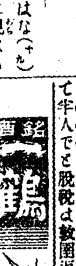
●●一白●● 不如意の事多し障礙舛錯を醸すなかれ△二黒 心神を謹愼して過誤あるなかれ酒害女色賭事を最も戒しむ△三碧 陰惡の日他人との交際關係交涉事件に注意すべし不測の損害舛錯起り易し△四緑 取引金錢委任委托等見合すべし埒明かず盜害紛失留意せよ△五黄 人と親比協合するには吉其外平穩△六白 顯名昇進の日なり入學入門婚姻等には大々吉△七赤 收利快心の事あり音信にて悅を聞く△八白 靜平の日舊常舊産を變動する等凶△九紫 恩仇となり利害となる齟齬多し退步の日とす

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



◀平民文庫▶

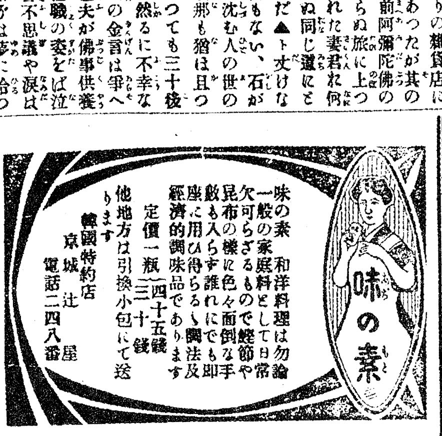
▲仁川は京城通りの雜貨店に何屋と云ふのがあつたが其の主人某は二月許前阿彌陀佛の來迎に會ひて歸らぬ旅に上つたので跡に殘された妻君れ何は身も世もあらぬ同じ道にと迄も嘆き悲しんだ▲ト丈けなら別段何の變哲もない、石が流れて木の葉が沈む人の世の流れに漂ふ人の心の動顚は刹那も猶は且つ長しとする▲跡に二十後家立つても三十後家立たぬと云ふことがある、然るに不幸なる哉此の後家は恰三十▲古人の金言は爭へぬものである、此の後家殿亡夫が佛事供養の爲めに呼び迎へたる某寺住職の姿をば泣き腫らした眼に一眼見るが否不思議や涙はバツタリ止まり亡き夫の事なぞは夢に拾つた金の樣一つも殘らず忘れて終ひ四十九日も經たぬ內に嬉しいのとか何んとか云ふ交情となり今では同地寺町の某寺に御座るとか▲草葉の蔭で亡夫殿己れの引導受けた坊さんに女房迄が濟度せられたと聞いたらア、夫れで安心したと喜ぶだらうか夫れとも又己れやれと恨むだらうか、記者君何うだ(仁川〇より)▲通管の渡〇は內部へ轉じたと聞及んだが此頃又局內で見受けるハハア運動効を奏せずか、彼れが如きは懲戒の價値がある彼れは深野課長時代からの酒娃實である(省百務敕府)▲龍山死斯會社の寄宿に居る吉村君長谷川町の酌婦に金を拂つて行り玉へよ借りたものぢやないか催促されるのが厭なら拂つて行れば宜いぢやないか(忠告子)▲豚廻舍君に申す、判任も判任でどしたるは中の一人前のとあるにかけて牛人でど脫稅は數圓返るにも當るまじ拜



い・い・い・願し立身しはしの二段切れは耳隱りと思ひたるからなり別段商說は持ち合はせず、「古池の平凡な蛙になるわいや」は痛馬骨を刺す閑口々々(むら)▲相談の相談欄の壽町生に答ふ事實有利確實なる事業ならば出資しても好し御來談を乞ふ(龍山元町太陽館支店內城谷生)▲飲食店は虎疫の流行に依りて大打擊を受けたる之れに反して藥種商と寄坡病院と火葬場とは大繁昌(天地人)▲韓人が牛車を四臺も五臺も少しの間隔も開けずに引つ張つて行くのは不都合に感ずる何んとか取締つて頂きたい(通行人)▲清潔とか衛生とか云つたつて僕の處の裏なぞは塵芥が山の如くに積み上げてあるが取りに來て呉れない彼れでも差し支へないとすれば清潔なんて者は金も何も要ないね(溫突住人)

廣告





名譽銀牌受領 キリンビール

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セズ)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

洋食 うなぎ丼 うなぎ蒲燒 天ぷら 辨當折詰類
生そば
今回生そば相始め一層勉强致し候間多少と遠近とに不拘續々御用命之程願上候
南大門驛構內 電話六八七番
エーテー

訂正改版 韓日英新會話
○洋裝總クロース製紙數五百餘頁郵稅金十錢
特價金一圓 郵稅金十錢
發行所 京城本町二丁目 振替口座九〇五九 日韓書房

獨習 日韓尺牘
○洋裝全一册紙數五百餘頁定價金一圓郵稅十錢
日韓の關係日に月に親密となり諸般の事業益々多忙を極む。此の時に當り韓語を完全に會得せざる時は意外の不利益を招き且不便を感ずる事少からず、殊に出來ても韓文は一面識なき間に相互の意を通せしむる最も必要なる事にて會語は出來ても筆の持てざるもの十中九までと云ふも決して過言にあらず、此れ全く今日まで完全なる良書なきによる。本書は日本通を以て有名なる鄭先生の多年苦心の結果著述せられたるものにて各種の文例數百題を一々日韓兩文に對照し且つ熟語類語等數万語を附しあれば何人と雖も一目直に實地に應用出來得る良著なり
帝國新聞社長 鄭雲復著 (新刊發賣)
販賣元 東京 合資會社 高田商會銀座販賣店
韓國特約店 京城本町 山岸天佑堂藥房 (電話三百七十二番)

藥學博士丹波敬三先生發明
消毒 防臭 殺菌劑 クレシン
クレシンハ虎列剌菌、腸窒扶斯菌、實布的里菌等ノ黴菌中最强ナル黴菌發生ノ抑止殺滅ニ偉大ノ効力ヲ有スル事現時發賣スル他ノ防腐消毒藥中比較スル可キモノナク而モ其價格ハ非常ニ低廉ナレバ惡疫流行ノ兆アル昨今公私衛生上殊ニ必要ノ良劑ナリ

京城南山町三丁目(元日本人倶樂部)
京城ホテル
電話 長一三 四九二番

折箱製造元
京城明治町一丁目 五十番戸 漢城病院下横ヘ入ル
箱信事 鳥山商店

◎消閑之清遊
每日午後 開會 諸君 子陸續 臨を賜へ
京城明治町一丁目 京城碁會 (大和湯前〇方隣)
市中之仙境

東京實業會諸商店御旅宿 リヨリ 右ヘ半丁上ル左側
高等御下宿 土地高燥清凉
國分旅館 壽町二丁目

馬車配達
純良 滋養と牛乳 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
衛生と消毒

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり
待合 貸席 入船
京城南山町一丁目 電話千百三十五番

入院隨意
內科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

待春日
合 のしく

各種洗濯石鹼
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、理髮、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹼製造所



如何なる美人もクラブ洗粉を愛用す
美人とクラブ洗粉は無二のフレンド!!!

良く流るゝ水は清く
常にクラブ洗粉を用ゆる人は美なり





使へば使ふ程素顔の美を増すはクラブ洗粉の特色

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
東京海上運送火災保險株式會社
京城代辦店 本町四丁目 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿装釘、書籍製本及ビ印刷
諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

神戶資生分院
●花柳病一般、痔疾注射療法
京城梅毒病院
新築落成入院隨意
京城相生町(南門湯隣)
院長 元兵庫縣福原驅梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長一〇七番)

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 弊場は此に留意し好良の食料を給す
●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豊富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし
京城本町五丁目(電四七番)
販賣元 仁川 松尾支店
京城東四軒町(電七番)
搾取所 松尾牧場

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國 スカンジャ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

診察時間 自午前 至午後七時
每月 一日 十五日 休業
本町二丁目 中村耳鼻咽喉眼科醫院
院主 從七位 醫學得業士 中村健吉

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金貳拾錢▲六ケ月前金壹圓▲一ケ年金
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢
發行兼編輯人 高木久馬七
印刷人 橋本卓一郎
發行所 京城新報社 京城南署小門洞 電話六六三番